

墨にとけていく心／石原獨往展

おもい

身体から腕、指へと、心にひそむ思念が伝わって、
墨を含んだ筆の先、白い紙に言葉が現れる。

書家・石原獨往は紙に彫刻するがごとく筆を持ち、
書くことで生まれた白、墨の影が光を照らす。

「書道」に抗い、視覚が字形を写す教育を捨象し、
触覚と身ぶりの深度を加えて、
長く教育の場で書の意味と希望を伝えてきた。

自ら路を拓き、ラディカルに展開する
石原獨往の世界を紹介します。

8.23^{sat}-9.15^{mon} 火・水曜日は休館

開館時間：午前10時～午後5時（入館受付は午後4時30分まで） 入館料：大人400円 高校生以下は無料 ※当企画展会期中、収蔵品はアトリエ棟にて鈴木崋の作品のみ展示しています。

石原 獨往（いしはら・どくおう）

1962年、長野県生まれ。新潟大学書道科卒業。長野県内の各高等学校で長く書教育に携わるとともに、書の新たな表現に取り組んできた。07年、芸術教育実践記録「自己を育てる書教育」、08年、作品集「影が光を照らし始める瞬間（とき）」刊。15年、芸術新聞社「墨」評論賞（石川九楊選）準大賞。

アーティストトーク：8月24日（日）午後2時～3時

※参加には入館料が必要です。

（至）2024年



入館割引 会期中にこのチラシをお持ちになってご来館いただくと、入館料お一人100円引きいたします。（お二人まで、当日限り）



主催／企画 アンフォルメル中川村美術館 愛称“あんびい”

自動車：中央道駒ヶ岳スマートICから25分 中央道駒ヶ根ICから30分 中央道松川ICから25分 電車：JR飯田線飯島駅下車 タクシー20分 JR飯田線伊那大島駅下車 タクシー25分
〒399-3801 長野県上伊那郡中川村大草2124番地 TEL.0265-88-2680 E-mail:museuminf@cek.ne.jp <https://www.informelmuseum.com>